



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月31日

上場取引所 東 大名

上場会社名 第一三共株式会社

コード番号 4568 URL <http://www.daiichisankyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中山 讓治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 斎 寿明

TEL 03-6225-1125

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト、報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	696,403	△6.9	91,872	△23.8	86,418	△33.8	17,542	△78.0
23年3月期第3四半期	748,056	3.1	120,631	33.9	130,607	44.1	79,663	103.0

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △32,331百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 45,388百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	24.92	24.89
23年3月期第3四半期	113.17	113.07

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	1,445,552	824,079	54.9
23年3月期	1,480,240	887,702	57.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 793,239百万円 23年3月期 849,004百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
24年3月期	—	30.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	30.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	940,000	△2.8	100,000	△18.1	77,000	△41.6	15,000	△78.6	21.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、4ページ「2. その他の情報」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	709,011,343 株	23年3月期	709,011,343 株
24年3月期3Q	5,095,223 株	23年3月期	5,097,302 株
24年3月期3Q	703,912,858 株	23年3月期3Q	703,925,181 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項は、3ページの「1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業的前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

【連結業績】

(単位：百万円、端数切捨て)

	2011年3月期 第3四半期累計	2012年3月期 第3四半期累計	対前年同期増減額 (増減率)
売上高	748,056	696,403	△51,652 (△6.9%)
営業利益	120,631	91,872	△28,758 (△23.8%)
経常利益	130,607	86,418	△44,188 (△33.8%)
四半期純利益	79,663	17,542	△62,120 (△78.0%)

2012年3月期第3四半期累計期間の為替レート：79.00円/米ドル、110.62円/ユーロ、1.79円/インドルピー

2011年3月期第3四半期累計期間の為替レート：86.53円/米ドル、113.31円/ユーロ、1.96円/インドルピー

2011年4月1日から12月31日までの当第3四半期連結累計期間の売上高は、6,964億円（前年同期比6.9%減）となりました。高血圧症治療剤オルメサルタン、消炎鎮痛剤ロキソニン、感染症予防小児ワクチン アクトヒブ、抗血小板剤エフィエントなどの伸長に加え、当期に日本において新発売したNMDA受容体拮抗アルツハイマー型認知症治療剤メマリーやプロトンポンプ阻害剤ネキシウム（胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎等の治療）などが寄与いたしました。円高に推移した為替の影響260億円に加え、販売移管に伴う国内医薬の売上高減少、ランバクシー・ラボラトリーズ Ltd.（以下「ランバクシー」）の売上高減少などにより、517億円の減収となりました。

営業利益は919億円（前年同期比23.8%減）となりました。損益構造の全社見直しによる経費圧縮に加え、円高に推移した為替の影響で海外における販売費及び一般管理費や研究開発費が減少したものの、売上高減少に伴う売上総利益への影響が大きく、288億円の減益となりました。

経常利益は864億円（前年同期比33.8%減）となりました。営業外損益においてランバクシーの為替差損及びデリバティブ評価損を計上したことなどにより、442億円の減益となりました。

四半期純利益は175億円（前年同期比78.0%減）となりました。2011年12月21日に発表いたしましたランバクシーと米国司法省（DOJ）との案件解決に向けたランバクシーの引当金500百万米ドルを、当第3四半期の特別損失に403億円計上したことなどにより、621億円の減益となりました。

当第3四半期連結累計期間におきましては、前述のメマリー、ネキシウムに加え、経口FXa阻害剤リクシアナ（下肢整形外科手術施行時の静脈血栓塞栓症の発症抑制）を発売いたしました。また、日本においてグラクソ・スミスクライン（株）が発売したロタウイルス胃腸炎予防ワクチン ロタリックス内用液の共同販促、さらには米国においてはロシュグループが発売した転移性悪性黒色腫（メラノーマ）治療剤 Zelborafの共同販促を開始いたしました。

なお、2011年3月11日に発生した東日本大震災により、第一三共プロファーマ（株）の工場が被害を受けましたが、平塚工場につきましては同年4月より、小名浜工場につきましては8月下旬より生産を再開しております。また、今回の被災を受けて、事業継続計画（BCP）の見直しも鋭意推進しております。

【報告セグメント】

① 第一三共グループ

第一三共グループの売上高は、5,826億円（前年同期比5.1%減）となりました。

a. 日本

日本の売上高は、3,768億円（前年同期比6.4%減）となりました。

国内医薬では、消炎鎮痛剤ロキソニンテープ、高血圧症治療剤レザルタスなどの伸長に加え、当期に新発売したメマリーやネキシウムなどが寄与いたしました。導入元等への販売移管品目の影響を受け、売上高は3,238億円（前年同期比3.7%減）となりました。

輸出医薬では、各国での独占販売期間満了に伴う合成抗菌剤レボフロキサシンの輸出額減少や円高の影響などにより、売上高は145億円（前年同期比51.0%減）となりました。

ヘルスケア（OTC事業）では、スイッチOTCの消炎鎮痛剤ロキソニンSなどが伸長し、売上高は361億円（前年同期比5.7%増）となりました。

b. 北米

北米の売上高は、1,362億円（前年同期比4.1%減）となりました。エフィエントなどの伸長に加え、当期に買収したPlexxikon Inc.でのZelboraf関連の収入などが寄与いたしました。円高の影響や高血圧症治療剤ベニカーの売上高の減少などにより、減収となりました。

c. 欧州

欧州の売上高は、491億円（前年同期比0.8%減）となりました。高血圧症治療剤セビカー、セビカーHCTなどが伸長しましたが、円高の影響を受け、減収となりました。

d. その他の地域

その他の地域の売上高は、204億円（前年同期比3.1%増）となりました。韓国、ベネズエラ、ブラジルなどにおける売上高増加に加え、メキシコでの自社販売の開始も寄与し、増収となりました。

② ランバクシーグループ

ランバクシーグループの売上高は、米国においてアルツハイマー型認知症治療剤ドネペジルが寄与いたしました。前期業績に大きく貢献した抗ウイルス剤バラシクロビルの売上高が今期は大幅に減少したこと、及び円高の影響などにより、1,139億円（前年同期比15.0%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末における純資産は8,241億円（前期末比636億円減少）、総資産は1兆4,456億円（前期末比347億円減少）、自己資本比率は54.9%（前期末57.4%）となりました。

純資産は、配当金の支払いや、円高の影響で海外子会社の資産が減少したことなどにより減少しております。

総資産は、純資産の減少やランバクシーの社債償還などにより、前期末に比べて減少しております。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2011年12月21日に公表しました2012年3月期連結業績予想との差異は、以下のとおりであります。

[通期]

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	930,000	100,000	90,000	26,000	36.94
今回発表予想 (B)	940,000	100,000	77,000	15,000	21.31
増減額 (B-A)	10,000	0	△13,000	△11,000	
増減率 (%)	1.1	0.0	△14.4	△42.3	
(ご参考) 前期実績 (2011年3月期)	967,365	122,143	131,762	70,121	99.62

(修正の理由)

売上高は、減収要因として国内医薬ではさらなる競争の激化や4月の薬価改定を控えた市況の冷え込み等が想定されるものの、増収要因として米国でのランバクシーによる高コレステロール血症治療剤アトルバスタチンの発売寄与があるため、前回予想から100億円上方修正の9,400億円を見込んでおります。

営業利益は、アトルバスタチンの寄与が見込まれるものの国内売上減に伴う影響を勘案し、前回予想の1,000億円を変更しておりません。

他方、インドルピーの対米ドルレート下落により第4四半期も為替差損及びデリバティブ評価損を計上する見込みであることから、経常利益は前回予想から130億円減額の770億円といたします。

当期純利益は、前回予想から110億円減額の150億円といたします。これは経常利益段階までの減益要素に加え、今般日本において法人税率の引下げが決定されたことに伴い従前計上しておりました繰延税金資産を取崩す会計処理が必要となりますので、当期中に会計上の税金費用が増大することを踏まえ、通期予想を修正いたします。

なお、期末配当予想（1株当たり30円）は、変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
税金費用については、当四半期連結累計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	262,037	87,986
受取手形及び売掛金	205,590	222,005
有価証券	157,653	185,121
たな卸資産	142,792	155,894
繰延税金資産	90,245	82,151
その他	38,075	40,000
貸倒引当金	△2,319	△2,175
流動資産合計	894,075	770,984
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	119,962	126,889
機械装置及び運搬具（純額）	46,706	44,764
土地	38,407	37,021
建設仮勘定	20,599	31,314
その他（純額）	12,034	12,389
有形固定資産合計	237,710	252,379
無形固定資産		
のれん	67,316	83,556
その他	89,606	152,034
無形固定資産合計	156,923	235,591
投資その他の資産		
投資有価証券	102,416	105,726
繰延税金資産	73,245	67,070
その他	16,149	14,110
貸倒引当金	△281	△311
投資その他の資産合計	191,531	186,597
固定資産合計	586,164	674,568
資産合計	1,480,240	1,445,552

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	58,407	59,242
1年内償還予定の転換社債型新株予約権付社債	46,020	—
短期借入金	29,342	54,293
未払法人税等	7,545	8,819
返品調整引当金	1,244	1,709
売上割戻引当金	1,623	1,984
災害対策引当金	4,570	3,540
和解費用引当金	—	38,315
資産除去債務	178	212
その他	158,019	163,975
流動負債合計	306,952	332,092
固定負債		
社債	100,000	100,000
長期借入金	124,036	103,735
繰延税金負債	28,463	53,534
退職給付引当金	11,541	9,555
役員退職慰労引当金	155	170
その他	21,388	22,385
固定負債合計	285,585	289,381
負債合計	592,537	621,473
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	105,194	105,194
利益剰余金	774,274	749,575
自己株式	△14,581	△14,566
株主資本合計	914,888	890,202
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,559	16,457
繰延ヘッジ損益	1,193	667
為替換算調整勘定	△83,636	△114,088
その他の包括利益累計額合計	△65,883	△96,962
新株予約権	3,544	3,575
少数株主持分	35,153	27,263
純資産合計	887,702	824,079
負債純資産合計	1,480,240	1,445,552

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	748,056	696,403
売上原価	213,063	200,540
売上総利益	534,992	495,862
販売費及び一般管理費	414,361	403,990
営業利益	120,631	91,872
営業外収益		
受取利息	2,801	2,059
受取配当金	2,758	2,642
デリバティブ評価益	8,822	—
その他	3,171	3,556
営業外収益合計	17,554	8,257
営業外費用		
支払利息	4,266	3,053
デリバティブ評価損	—	4,155
為替差損	213	3,772
持分法による投資損失	194	163
その他	2,904	2,565
営業外費用合計	7,578	13,711
経常利益	130,607	86,418
特別利益		
固定資産売却益	4,551	1,814
持分変動利益	76	116
投資有価証券売却益	3,002	—
関係会社株式売却益	814	—
その他	96	200
特別利益合計	8,541	2,131
特別損失		
固定資産処分損	984	1,812
和解費用引当金繰入額	—	40,330
災害による損失	—	2,237
たな卸資産廃棄損	—	1,677
事業再編損	482	1,279
環境対策費	581	319
減損損失	1,034	308
投資有価証券評価損	3,114	175
関係会社株式評価損	1,176	—
偶発損失引当金繰入額	202	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	139	—
その他	581	—
特別損失合計	8,297	48,139
税金等調整前四半期純利益	130,850	40,410
法人税等	42,709	37,921
少数株主損益調整前四半期純利益	88,141	2,489
少数株主利益又は少数株主損失(△)	8,477	△15,053
四半期純利益	79,663	17,542

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	88,141	2,489
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,150	△104
繰延ヘッジ損益	204	△822
為替換算調整勘定	△33,486	△33,523
持分法適用会社に対する持分相当額	△321	△370
その他の包括利益合計	△42,752	△34,820
四半期包括利益	45,388	△32,331
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	40,004	△13,558
少数株主に係る四半期包括利益	5,383	△18,773

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	614,093	133,962	748,056
セグメント間の内部売上高又は振替高	46	203	249
計	614,140	134,165	748,305
セグメント利益	100,275	37,672	137,947

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	137,947
取得原価配分額の償却	△2,677
のれんの償却	△1,812
投資有価証券売却の調整	△2,101
セグメント間取引消去	△235
その他の連結調整	△270
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	130,850

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	第一三共 グループ	ランバクシー グループ	合計
売上高			
外部顧客への売上高	582,550	113,853	696,403
セグメント間の内部売上高又は振替高	464	672	1,137
計	583,014	114,526	697,540
セグメント利益	85,796	1,185	86,982

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	86,982
取得原価配分額の償却	△2,445
のれんの償却	△1,809
和解費用引当金繰入額	△40,330
セグメント間取引消去	△1,702
その他の連結調整	△285
四半期連結損益計算書の税金等調整前四半期純利益	40,410

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。